

English Abstract of JP 4-40680 U

"Skate Mounting Ratchet Apparatus"

The skate mounting the ratchet (3, 7, 8) in wheel (1).

77 9-80600

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-40680

⑬ Int. Cl.⁵

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

庁内整理番号

7008-2C
7008-2C

⑭ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑯ 実 願 平2-81230

⑰ 出 願 平2(1990)7月31日

⑱ 考 案 者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑲ 出 願 人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑳ 実用新案登録請求の範囲

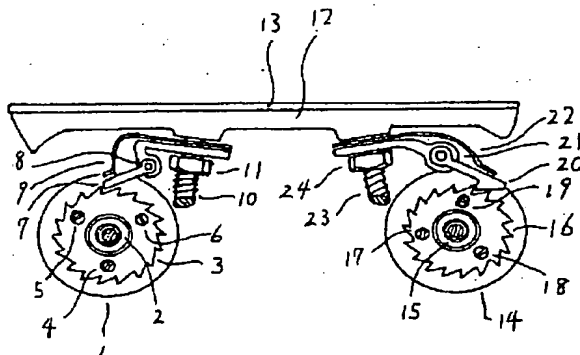
車輪に、つめ車装置を取付けた構造のローラースケート。

図面の簡単な説明

図面は、断面部を含む本考案の側面図である。

1……車輪、2……軸受け、3……つめ車、
4, 5, 6……ボルトの頭部、7……つめ、8……

……中空軸、9……バネ、10……ボルト、11……
ナット、12……台、13……台の平らな面の
厚み、14……車輪、15……軸受け、16……
つめ車、17, 18, 19……ボルトの頭部、2
0……鉤状のつめ、21……中空軸、22……バ
ネ、23……ボルト、24……ナット。



公開実用平成 4-40680

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報(U) 平4-40680

⑮ Int. Cl.⁸

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

庁内整理番号

7008-2C
7008-2C

⑰ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑱ 考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑲ 実 願 平2-81230

⑳ 出 願 平2(1990)7月31日

㉑ 考 案 者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

㉒ 出 願 人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

明細書

1. 考案の名称 つめ車装置を取付けた
ローラースケート。

2. 実用新案登録請求の範囲

車輪に、つめ車装置を取付けた構造
のローラースケート。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、車輪に、つめ車装置を取付けた構造のローラースケートに関するものである。従来、ローラースケートで走行する時は、側方に蹴り出さなければならぬ為に、60 糎程度の路幅では、慣性走行しか出来なかったが、この考案のローラースケートは、車輪に、つめ車装置を取付けた

構造である為に、車輪は回転方向により、回転を停止し、或いは空転をするので、60糎程度の路幅でも、後方への蹴りによって加速出来る効果があり、又、この配の急な坂も、歩く姿勢で登坂出来る効果があり、交通や、安全に支障を生じない環境に於いては、ロースケートの用途を多くする。

次に、図面の図例により、説明をすると、図面で示すものは、本考案の内容を、前進方向の右側の各車輪により、説明をするものであって、左側も、右側と同様であるから、図面と説明とを簡単明瞭にする為に、図示を省略してある。

図面の中で、先づ、前方の車輪と、その関連部材について説明をすると、車輪(1)に、つめ車(3)を取付ける。この際に、取付け用の材料、種類等は任意であるが、この図例では、ボルトを用いており、ボルトの頭部(4、5、6)で示す各ボルトが、車輪(1)と

、つめ車(3)とを貫通して、相方を取付け固定する。

軸受け(2)が、破断面で示す車軸を包围し、回転自在に支持する。

つめ車装置の種類、構成等は任意であるが、この図例では、つめを外側に持っており、そして、つめ車(3)とホミ合う。つめ(7)の他方の端部は、中空軸にしてあり、それを動作自在に支持する中空軸(8)の相方に、ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させるものであり、つめ(7)を、つめ車(3)に押し付けるバネ(9)の他方と及び、中空軸(8)の他方の、各板状部には、それぞれ孔を設けるものである。そして、それらの孔に、台(12)の一部にネジ込まれているボルト(10)を貫通させて、ナット(11)により、締め付けて固定する。

ローラースケートの靴の裏の台には、この図例以外のボルト、ナットが付設されている

から、それらの取付け用の材料を使用すること
とも出来る他、つめ車装置の台(12)への
取付け材料の種類は任意である。

台の平らな面の厚み(13)を側面図によ
り、示してある。

次に、後方の車輪と、その関連部材につ
いて説明をすると、車輪(14)に、つめ車(16)
を取付ける。以下に於いて、取付けに関
する材料種類等は、前方の車輪とその関連部材
の説明と同様に任意とする。

ボルトの頭部(17、18、19)で示す
各ボルトが、車輪(14)と、つめ車(16)
とを貫通して、相方を取付け固定する。

軸受け(15)が、破断面で示す車軸を包
囲し、回転自在に支持する。

つめ車(16)とかみ合う、鉤状のつめ(20)
の他方の端部は中空軸にしてあり、そ
れを動作自在に支持する中空軸(21)の相
方に、ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させ

るものであり、鉤状のつめ(20)を、つめ車(16)に押し付けるバネ(22)の他方と及び、中空軸(21)の他方の、各板状部には、それぞれ孔を設けるものである。そして、これらの孔に、台(12)の他の一部にネジ込まれているボルト(23)を貫通させて、ナット(24)により、締め付けて固定する。

同図中で、前方のつめ車装置と、後方のつめ車装置のうち、中空軸(8、21)等を貫通させる為のピン、ボルト等の軸状部材の図示は省略しており、更に、中空軸(8、21)等と及び、バネ(9、22)等の各他方の板状部に、それぞれ設けられる孔についても、図示を省略してある。

又別に、同図中に示してあるボルト(10、23)は、それぞれ一部に断面部を含む。

同図中と及び、本文のうちで、台(12)とは、各車輪を支持する支柱、枠等を取付ける台のことであり、靴等履物の図示は省略してある。

一字
抹消



4. 図面の簡単な説明

断面部を含む
図面は、本考案の側面図である。

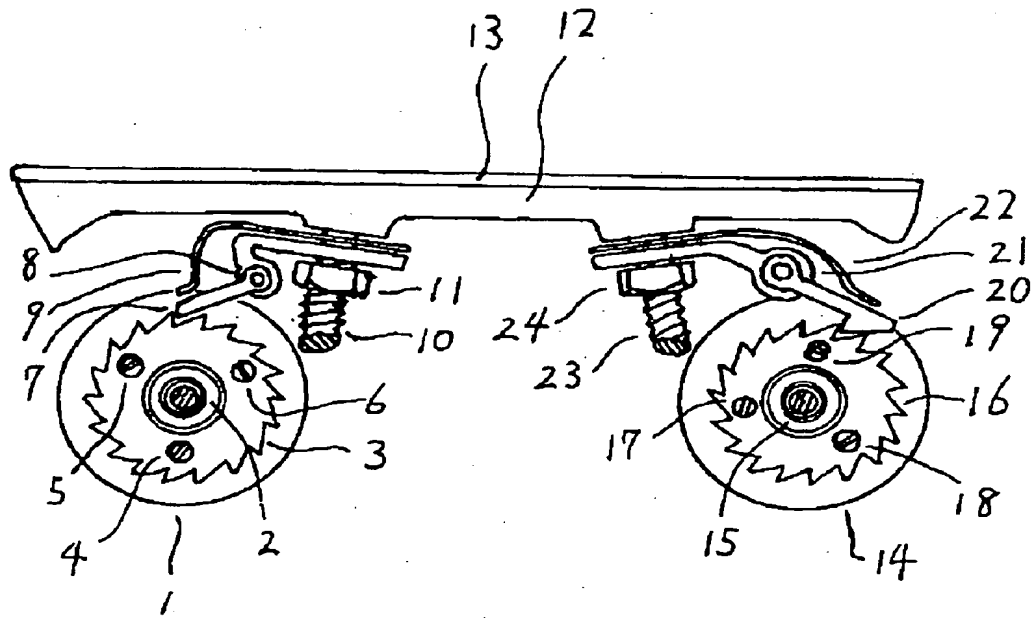
六字
挿入



1... 車輪 2... 軸受け、3... つめ車、4、
5、6... ボルトの頭部、7... つめ、8... 中空
軸、9... バネ、10... ボルト、11... ナット、
12... 台、13... 台の平らな面の厚み、14
... 車輪、15... 軸受け、16... つめ車、17
、18、19... ボルトの頭部、20... 鉤状の
つめ、21... 中空軸、22... バネ、23...
ボルト、24... ナット

実用新案登録出願人 佐々木 稔

面 図



實用新案登録出願人 佐々木 稔

909
実開 4 - 40680